

議会だより

CONTENTS 9月定例会

- ▶ 一般質問 議員10名が徹底討論…P6～P10
- ▶ 広報にQR化導入!…P20

令和元年度一般会計歳入 歳出決算承認！(P2)

vol. 144

写真：新しい生活様式を取り入れた中での、高浜小学校運動会。



令和元年度一般会計歳入歳出決算を 賛成多数で承認

TOPICS

令和元年度一般会計歳入歳出決算を慎重審議の結果、賛成多数で認定した。
平成30年度と比べ歳入は3.0%、歳出は4.2%減少となった。



歳入総額 115億2877万137円

TOP3

- ▶ 町税…39億2981万7068円
- ▶ 固定資産税…30億3555万3392円
- ▶ 国庫支出金…28億2709万5639円

その他の歳入として、ふるさと納税寄付金3160万5530円のご支援もあった。



財政健全化判断比率は、基準を下回っている。

実質公債費率は7.6%と問題なく、将来負担比率は基金の増額等により数値なしと改善している。

(河島浩彦)

歳出総額 105億7878万3350円

TOP3

- ▶ 土木費…24億914万6890円
【町道、災害制圧道路の新設や改良工事に13億7590万4千円支出】
- ▶ 民生費…20億425万8334円
【新高浜保育所実施設計、新設民間認定子ども園運営補助、保健福祉センター改修工事など】
- ▶ 総務費…19億9708万5715円
【統一選挙費用、UIターン奨学金返還サポート事業積み立てなど】



新高浜保育所建設予定地

一般会計
歳入総額 115億円
歳出総額 105億円

六次産業施設内装備品購入費を減額

TOPICS

令和2年度一般会計補正予算に計上された高浜漁港再整備事業のうち備品購入費1億9933万6千円の予算は高額であるとして、減額を求めた。

また、テナント業者が決まっていない段階での備品購入は基本的なものに限定すること。

高浜町が購入する備品と入居業者の負担の在り方に明確な根拠を示すこと、高浜町として最低限度の購入とすることを求めた。



付帯決議の要請があったが町長から予算額を2千万円減額し、入札等で最終執行額を1億5千万円程度にしたいとの回答があった。

よって、付帯決議はされなかったが、一部の議員から業者が決まっていない段階の購入は疑問とし、備品購入費の全額を減額するよう修正動議が出され否決された。

6次化施設を巡っては、入札不調から設計見直しにより事業規模が縮小されたが経営の見通し、管理運営の在り方等が不透明である。

費用対効果が求められる産業施設は町民の税金であることを自覚し、完成までに事業内容を広く町民に周知し理解を求め、町民に親しまれる施設づくりが求められる。

(松岡茂和)

必要最低限の備品購入として
厳格な管理ルールを求める

グリーンスローモビリティ(中心市街地周遊カート)実証実験に向けた環境整備

TOPICS

グリーンスローモビリティ

7人乗りの電動カート4台分を含む関連予算が可決しました。令和3年度に、高浜地区、和田地区の中心市街地を周遊する電動カートの実証実験が開始される。

既存の赤ふんバスを補完する輸送サービスとして、高齢者の移動手段や観光客向けの新しいモビリティとして賑わい創出などへの活用が期待される。

周辺では、石川県輪島市、京都府伊根町、和束町、兵庫県朝来市などで導入または実証実験が行われている。



導入予定の電動カート(ヤマハ発動機)



試乗会の様子

(磯部武史)

感染防止対策、町内の消費喚起、生活困窮世帯への支援を

TOPICS

赤ふん坊や通貨、1世帯に3万円配布が決定！

新しい生活様式応援事業にて、町内全世帯を対象に地域商品券(赤ふん坊や通貨)を1世帯に3万円配布することが決まった。目的としては、日常生活における自制と感染防止対策を促し、町内の消費喚起と生活困窮世帯への支援だ。委員会では、非常事態宣言も解除された今、なぜ3万円を配る必要があるのか、なぜ1人あたりではなく1世帯なのか、不公平は生じないか、消費喚起と言っても、業種により格差が生まれるのではないかなど積極的な議論がなされた。理事者からは「お見舞い金の意味合いを含めての配布である」との説明があり、1人あたりの給付であれば財源も厳しいとの見解であった。

他市町では、業種間の格差が生じないよう、飲食店用や小売店用など、商品券を色分けし、用途を分けての給付を行なっている自治体もある。高浜町もこれからの備えはもちろん、本当に困っている人への支援を的確に行う必要がある、我々町民一人ひとりがしっかり考えて活用することも重要になってくる。



(兒玉千明)



9月定例会では以下の議案を慎重審議しました

		議決結果	松井	河島	松岡	矢野	児玉	西野	井上	大塚	上尾	廣瀬	井ノ元	磯部	小幡	渡邊	関連ページ
○…賛成 ×…反対 △…棄権 ▲…欠席 ※議長等採決に参加しない議員は「/」となります																	
承認第10号	専決処分の承認を求めると (一般会計補正予算第5号7/8)	全員賛成 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	P11 P12
発議第1号	令和2年度高浜町一般会計補正予算(第6号)に 対する修正動議の提出	賛成少数 否決	○	○	×	×	○	×	×	×	/	×	×	×	×	○	P5
議案第65号	令和2年度高浜町一般会計補正予算(第6号)	賛成多数 可決	×	○	○	○	×	○	○	○	/	○	○	○	○	×	P11 P12
議案第66号	令和2年度高浜町国民健康保険診療所特別会計 補正予算(第1号)	全員賛成 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	P15
議案第67号	令和2年度高浜町後期高齢者医療特別会計 補正予算(第1号)	全員賛成 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	P15
議案第68号	令和2年度高浜町介護保険特別会計 補正予算(第1号)	全員賛成 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	P15
議案第69号	令和2年度高浜町公共下水道事業特別会計 補正予算(第2号)	全員賛成 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	P13 P14
議案第70号	令和2年度高浜町宅地分譲事業特別会計 補正予算(第1号)	全員賛成 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	P13 P14
認定第1号	令和元年度高浜町一般会計歳入歳出決算認定	賛成多数 承認	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	×	P11 P12
認定第2号	令和元年度高浜町国民健康保険特別会計 歳入歳出決算認定	全員賛成 承認	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	P15
認定第3号	令和元年度高浜町国民健康保険診療所特別会計 歳入歳出決算認定	全員賛成 承認	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	P15
認定第4号	令和元年度高浜町後期高齢者医療特別会計 歳入歳出決算認定	全員賛成 承認	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	P15
認定第5号	令和元年度高浜町介護保険特別会計 歳入歳出決算認定	全員賛成 承認	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	P15
認定第6号	令和元年度高浜町簡易水道事業特別会計 歳入歳出決算認定	全員賛成 承認	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	P13 P14
認定第7号	令和元年度高浜町公共下水道事業特別会計 歳入歳出決算認定	全員賛成 承認	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	P13 P14
認定第8号	令和元年度高浜町集落排水事業特別会計 歳入歳出決算認定	全員賛成 承認	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	P13 P14
認定第9号	令和元年度宅地分譲事業特別会計 歳入歳出決算認定	全員賛成 承認	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	P13 P14
認定第10号	令和元年度高浜町水道事業特別会計 歳入歳出決算認定	賛成多数 承認	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	×	P13 P14
議案第71号	高浜町6次産業施設の設置及び管理に関する 条例の制定	賛成多数 可決	×	×	○	○	×	○	○	○	/	○	○	○	×	×	P13 P14
議案第72号	道路改良工事(仮称)横断5号線請負契約	全員賛成 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	P13 P14
議案第73号	文化会館音響設備更新工事請負契約	全員賛成 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	P15
議案第74号	高浜町人権擁護に関する条例の全部を 改正する条例	賛成多数 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	×	P15
議案第75号	高浜町特別職の職員の給与及び旅費等に 関する条例の一部を改正する条例	全員賛成 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	P13 P14
請願第2号	日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同と 批准を求める意見書の提出に関する請願	賛成多数 不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	×	P13 P14
請願第3号	新型コロナ禍での老朽原発運転と 再稼働準備工事の停止を求める請願書	賛成多数 不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	×	P16
請願第4号	高浜発電所1・2号機の再稼働を求める請願	継続審査	-	-	-	-	-	-	-	-	/	-	-	-	-	-	P16
発意第3号	地方財政の充実・強化を求める 意見書の提出	全員賛成 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	P13 P14
発意第4号	新型コロナ感染症の影響に伴う地方財政の急激な 悪化に対し地方財源の確保を求める意見書	全員賛成 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	P11 P12

本会議での質疑・討論

討論 発議第1号

反対討論 磯部武史 議員

入札不調による工期の遅れもあり、開業までに間に合わない恐れがある。

賛成討論 河島浩彦 議員

予算額が高すぎであり、指定管理者未確定の現状で、用意する必要性に疑問を持つ。

賛成討論 児玉千明 議員

減額は口約束ではなく、修正を理事者側から出すのが筋であり、それがまかり通るのならば、議会はいらない。

〔6次化産業施設内装備品購入費1億9933万6千円について、予算額0円とする修正案が出されたが、賛成少数で否決〕

討論 議案第65号

反対討論 児玉千明 議員

修正動議で提出した通り、6次化産業施設の備品購入には反対。

反対討論 渡辺 孝 議員

計上された予算のうち漁業6次

化事業に反対である。

賛成討論 河島浩彦 議員

6次化産業施設内装備品購入費については再検討を強く要望し、賛成とする。

討論 議案第71号

反対討論 小幡憲仁 議員

これまで聞いていた運営内容と整合がとれない。

運営者は全くりススクをとらず運営が可能な内容で納得できない。

反対討論 渡辺 孝 議員

6次産業施設建設に反対する。

賛成討論 井上順也 議員

水産業の収益向上、観光施設として、また、交流人口の増加に貢献するものと期待する。

討論 議案第74号

反対討論 渡辺 孝 議員

旧被差別部落の人をいつまでも「部落の人」と追いかけることは人権侵害。

賛成討論 松岡茂和 議員

社会情勢の変化で人権課題も変わり新たに人権の法律ができた。上位法に合わせ改正するのは当然である。

討論 認定第1号

反対討論 渡辺 孝 議員

歳入総額のうち原発財源が52%を占める原発依存財政である。

賛成討論 小幡憲仁 議員

予算の目的に照らして適正に執行されている。原発関連財源が不健全で不安定との指摘は当たらない。

討論 認定第2号

賛成討論 渡辺 孝 議員

一般会計からの繰り入れで保険税値上げを押さえるべきである。

討論 認定第5号

賛成討論 小幡憲仁 議員

賛成するが決算内容から見ても、明らかに介護保険料設定が高すぎた。次期の保険料値下げを求める。

討論 認定第10号

反対討論 渡辺 孝 議員

「加入金は資本的収入ではなく収益的収入に入れるべきである。

討論 請願第2号

反対討論 井上順也 議員

原子力の平和利用である原子力発電所も含めて、否定する団体の請願である。

賛成討論 渡辺 孝 議員

被爆国日本は核兵器禁止条約に参加、調印、批准すべきである。

討論 請願第3号

反対討論 渡辺 孝 議員

老朽化した高浜原発1・2号機は廃炉にすべきである。

反対討論 井上順也 議員

新型コロナウイルス感染症防止対策をしっかりと行い、安全対策工事、定検作業を行っている。



Q 高齢者世帯等へのエアコン設置補助制度を

A 熱中症予防対策として現在の制度を周知徹底させていく

磯部 武史 議員



Q 町内の高齢者世帯でエアコンがない世帯もあると聞く。

A 冷暖房器具支給事業が執行された報告がない。

熱中症対策として、事業内容の見直しやわかりやすい制度にできないか。

A エアコンのない世帯があることは把握している。

熱中症の危険性を説明するとともに広報等で周知徹底していく。

◆高齢者の移動手段確保と2次交通の充実

Q 赤ふんバスのフリー

パス制度で実証実験に1カ月や3カ月といった短期のものを加えてはどうか。

A フリーパス購入者は

伸びているが、対象者の拡大や条件設定について様々な意見があり、次年度も実証実験を行っている。

Q 若宮海岸道路の整備について

A 砂防対策など含めて県とも協議

廣瀬 とし子 議員



若宮海岸



海岸道路

Q 若宮海岸の道路脇には砂浜からの砂が推積し、雑草が多く生えている。

環境、景観には大変悪い。

まだ、道路がつかっていない状態である。町

として、延伸する考えはないか。管理はどうなっているか伺う。

A 平成21年度に(若狭高浜漁業協同組合)に維持管理を委託し、トイレ清掃

を中心に日々の管理を行っている。例年であれば海水浴場開設の準備として草刈り、推積砂の徐

去などイベント実行委員で行っている。海岸道路の延伸については、県知

事へ要望する。



通学バス

Q スクールバスの登下校以外の利用は?

A 収穫体験や施設見学、部活動等で昨年度137件の利用がある。

Q ドックランの設置

最近犬を飼う家庭が増えているが、散歩や運動をさせる場所が少ない。町有地を利用出来ないか。

A 町民の方のご意向、ニーズを確認しながら、暮らしやすい環境づくりの一つの切り口として検討。



Q 青葉トンネルの改良整備の実現見込みを問う

A これまでの要望活動で一定の成果はある

◆コロナ禍におけるインフルエンザ対策について
Q コロナ禍でインフルエンザ流行期を迎える。発熱外来の整備や、インフルエンザ予防接種の公費拡大など対



改良整備が待たれる青葉トンネル

小幡 憲仁 議員



Q 高浜町の最重要要望事業である青葉トンネル改良整備の実現見込みを問う。

また、高浜町民の熱意を高めるため期成同盟会の設立や看板の設置、トンネル整備計画の住民広報などすべきでは。

A これまで繰り返し要望を続けた結果、国と京都府、福井県による3者協議が行われるなど光明が見えてきた。

町の広報誌への掲載など実現可能なものから実施したい。

応が必要。

A 国から県に対し対応方針が示された。現在、県で対応策を検討中であり、今後、県と連携して対応を図る。

インフルエンザ予防接種の公費拡大は考えていない。



Q 高浜海岸道路の新設について

A 構想段階であるが実施に向け検討したい

松岡 茂和 議員



Q 防災観光道路として立石から城山、和田まで海岸線を横断する道路新設を計画してはどうか。

A 都市計画を見直して、避難道を整備していく中で、交通の円滑化、活性化を図るため海岸沿いを基本としたルートを構想段階であるが検討を進めている。

現在の主要事業である中心市街地を通る道路整備にめどが立てば実施にむけ検討したい。

◆小浜線の活性化策について

Q 新幹線小浜ルート延伸に合わせJR小浜線の交通アクセスとして小浜線の快速運行や山陰線特急への乗り継ぎ等利便性向上を図ることや観光振興策として丹後鉄道黒松号等を定期的に運航しては。



丹後鉄道黒松号

A 福井県嶺南地域公共交通活性化協議会で3月に嶺南地域公共交通網形成計画が策定された。この中で快速の運行や山陰線特急乗り継ぎについて敦賀から京都北部間の時間短縮の表現で掲載されている。

イベント列車黒松号は10月にも運行され、定着すれば基金を活用し車両の導入も可能だがJRの協力が不可欠。嶺南市町の連携に尽力したい。

Q 原子力防災訓練について

A 有意義な訓練であった

① 訓練結果の見解は。
 ② 高浜町では避難訓練がなかったのはなぜか。
 ③ 和田地区住民などに安定ヨウ素剤の事前配布が必要だと思つがどうか。
 ④ 重大事故発生時の避難先となっている兵庫県3市町の受け入れ態勢は。

渡辺 孝 議員



◆ 8月の県主催原子力防災訓練について問う。

① 訓練結果の見解は。
 ② 高浜町では避難訓練がなかったのはなぜか。
 ③ 和田地区住民などに安定ヨウ素剤の事前配布が必要だと思つがどうか。
 ④ 重大事故発生時の避難先となっている兵庫県3市町の受け入れ態勢は。

◆ 持続化給付金について
 Q 新型コロナウィルスの影響などで売り上げが減少した場合の持続化給付金が、特に町内農家にはあまり知られていないように思つが、どうか。
 A 「給付金は、農業者から国へ直接申請することになるので状況は把握できないが、農協とも連携を図りながら情報提供していく。



Q 障がい者の方の就労支援事業所の設置ができないか

A 事業の創出、事業者のサポートについて考える

井上 順也 議員



◆ 就労事業所の設置、就労所得減少の対応ができないか。
 A 就労事業所の設置については、事業の創出、事業者のサポートについて、どのような事ができるか考えていく。
 就労所得の減少について、福祉版の雇用調整金のような事も実態を把握し、取り組みを進める。

◆ 新型コロナウィルスの不安感払拭について
 Q 今年度新たに出生した子どもに特別給付金と同じ10万円を支給できないか。
 A 少子化の拍車については、コロナ禍に関わらず、他の市町より支援策、体制を充実させていく。



リサイクルセンター

Q 町内多目的トイレにおけるオムツ交換台の現状は

A 順次、改修を進めるべく検討を行っている

松井 昭人 議員



城山公園多目的トイレおむつ交換台

Q 現在町内にある公共公衆トイレの多目的トイレの数は。

A 屋外公衆トイレの数は44施設あり、その内多目的トイレの数については、併設・単独を合わせて12施設ある。

Q これから先の公園整備などに於いて設置は検討されるのか。

A 福井県福祉の町条例に基づき、誰もが利用しやすいユニバーサルトイレを設置すべく検討を進めている。

◆フリーWi-Fiの設置
Q 町内フリーWi-Fiの整備の現状は。

A 通信速度がおそいなどの課題はあるが、あくまでもWi-Fi環境がない場所での公共サービス、情報環境の提供が目的である。

Q フリーWi-Fiの設置をした目的は。

A 主に施設利用者の利便性向上、来訪者への災害時の情報収集や情報伝達的手段として整備されている。

Q フリーWi-Fi利用者の意見収集はしているのか。

A 利用者の皆様からお声を頂きながら、可能な対応を進めている。

Q 国道27号線日置交差点の渋滞はいつまで続くのか

A 暫定交差点の改良工事により、渋滞緩和が見込めると想定している

大塚 ひとみ 議員



◆国道27号線日置交差点の渋滞について

Q 和田方面から舞鶴方面へ、また青郷方面から小浜方面へ通勤する町民から「日置交差点の渋滞はいつまで続くのか」の声を多く聞く。

町民は日々不自由を強いられている。今後の渋滞解消の対策は。

A 日置交差点から県道を通じて高浜発電所へ向かう車両が多いことが主な原因であると思われる。

国土交通省の事業で、国道27号線日置・青地係における歩道拡幅に伴い、暫定交差点の日置交差点の改良工事の実施予定により、和田から舞鶴方面への渋滞緩和が見込めると想定している。

更なる交通量の緩和を図る必要があれば、町道南 hands 線の延伸計画を

検討していきたい。

Q 事業者は、この問題解消に積極的に関わっていただけるか。

A 事業者には問題解消に向けて強く要請を求めている。

その他、「新型コロナウイルス関連について」、「熱中症対策(エアコン補助)について」、「地方交付税について」質問した。



国道27号線日置交差点

厚生文教

常任委員会報告

委員長 廣瀬 とし子

令和2年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算、決算認定など7件を審議

◇9月18日(金)

◆令和2年度高浜町国民健康

保険診療所特別会計補正予算

Q 新型コロナウイルス緊急包括支援基金は、院内での感染対策に係る費用を国が全額負担する内容だが、小さな診療所も対象か。
A 限度額は。

無償診療所の限度額は100万。

A 病床数×5万円で算出する。

Q 今後インフルエンザもある。診療所は対応できてないので対応をしていただきたい。

A 新型コロナウイルス発熱者の対応は県が行う。高浜病院とも協議し対応考えたい。

◆令和2年度高浜町後期高齢者

療特別会計補正予算

Q 今年7月に保険料改定が行われたが、算定基準に地域補正あるか。

A 県内同一で、地域補正はない。

◆令和2年度高浜町介護

保険特別会計補正予算

Q 償還事業の内容は

A 令和元年度分の介護給付費等の国庫と県費の負担金の精算に伴い、超過交付分を返還する。

Q コロナ禍で中止となっていた地域サロンは現在開催しているのか。

A 4～6月は開催しなかったが、現在は開催している。

◆令和元年度高浜町国民健康

保険特別会計歳入歳出決算認定

Q 保険料は適正か。

A 差し引き1500万プラスとなった。

平成30年度繰越金があり、繰り入れせずに済んでいるが、単年度ではマイナスである。

Q 保険料の減免等、申請や相談はあるのか。

A 国民健康保険関係で13件。相談件数は8月末時点で108件あった。

◆令和元年度国民健康保険診療

所特別会計歳入歳出決算認定

Q 高浜病院への医師の応援は、ドクターか。

研修医も入っているか。

A 福井大学からの医師派遣は3名であり、全員ドクターである。

Q 医薬品はジェネリック中心か？

A 和田診療所はほぼジェネリックで対応である。

◆令和元年度高浜町後期高齢者

医療特別会計歳入歳出決算認定

Q 普通徴収の調定額について、徴収率約50%で、徴収率は比較的高いと思うが何故か。

A 過去2年間ほどは350万ほど未収入額があったが、昨年度は徴収努力に様々な手立てを行った。

◆令和元年度高浜町介護保険

特別会計歳入歳出決算認定

Q 平成30年度、令和元年度は共に保険料がプラスとなっている。

被保険者から過大の保険料徴収はないようにお願いしたい。

A 現状では、高かったかもしれないが、高齢者が増えることを想定し、先を見越した保険料の設定である。

◆高浜町人権擁護に関する

条例の全部を改正する条例

令和2年3月定例会で継続審査となつて以降、これまで7回の委員会において委員会独自の修正案提示を行うなど、慎重審議がなされた。

委員からは、人権問題が多様化しており、これに対応した条例が必要との意見や、改正後には町民に徹底周知が必要との意見が出された。

審議の結果、賛成多数で可決された。
※条例全文は議会日より20ページにあるQRから閲覧可能

審査した議案

文化会館音響設備更新工事請負契約(全員賛成で可決)

予算決算

常任委員会報告 委員長 小幡 憲 仁

補正予算の6次化施設備品購入費について25日に委員会を再開し審査の結果、予算の減額修正も付帯決議もどちらも見送りとなる

◇9月14日(月)15日(火)25日(金)

◆一般会計補正予算

(5号)の専決処分

Q 夏期観光事業者に対する7、8月の売り上げ減に対する支援補助金について事業者からの申請が低調ではないか。

A 7、8月の売り上げ減に対する支援であり今後申請が増えると思われる。

Q 事前に議会審査を経ず専決処分としたことは遺憾。専決理由は。

A 緊急を要する事業もあったことと、夏期事業者に早めにアナウンスする必要があった。今後は慎重に対応する。

【全員賛成で可決】

◆一般会計補正予算(6号)

Q 新しい生活様式応援事業(地域通貨券3万円分を町内全世帯に配布)で、

配布を個人単位とせず不公平感のある世帯単位とした理由は。

A 町民から個人への支援の上乗せを求める声があることは承知しているが、例えば5万円を個人支給すると、町のコロナ関連の支援策総額を超える財源が必要。

高浜町は国の制度が届かないところへ支援する考え方で実施してきた。今回の3万円支給は、国の新たな臨時交付金の範囲内で支給額を決めた。

Q 町民に5万円を配らなかつた高浜町は賢明だった。今回も全世帯の配布ではなく発熱外来の整備などに充たすべきではなかつたか。

A コロナ禍で町民に「新しい生活様式」に移行していただくお見舞いの意味も含む。病院の支援は行っていく。

Q グリーンスローモビリティ事業(電動カートによる町内巡回)について、地域の賑わい創出など観光面での

活用は現実感がない。高齢者の移動手段確保に焦点を絞るべき。

A 財源の関係で観光面を謳っているが高齢者の移動手段確保も事業目的である。

Q 6次化施設内装備品購入費1億9933万6千円はあまりにも高額過ぎる。

A 議会の意見を踏まえて予算の執行に際しては、設計段階で約2千万円、最終の執行段階で約5千万円の縮減を図る。今後、補正予算で減額修正する。

【賛成多数で可決】

◆一般会計決算認定(令和元年度)

Q 企業誘致事業について、誘致に伴う雇用人数の実績把握の仕方、また、アフターコロナを見据えて、ワーケーションなどに注目が集まる中、今後の高浜町の企業誘致の考え方は。

A 雇用実績が7名となっているが、これは創業促進事業補助金の活用事例のカウント数で、町内全体の実績把握はできていない。

来年度以降は実績把握の対象を見直す。

ワーケーションについては、これぞ定住を図るにはハードルが高い。余暇的な形で関係人口を増やし、いずれ定

住につなげたい。



ワーケーションでの活用が期待されるまちなか交流館

Q ふるさと納税推進事業で、高浜町に3160万5530円の寄付が集まったが高浜町外に出ていった寄付額は。また、若者向けの返礼品が少ない。

A 高浜町から出た寄付額は1286万4450円である。若者向け返礼品について検討する。

Q 障害者雇用支援事業で、サイクルセンターの障害者雇用の実績が目標に届いていないが高浜町の障害者雇用の考え方は。

A 目標値は前年度実績に1名の雇用を上乗せして設定。実績は昨年度並みとなった。障害者雇用は、普段は家におられる方々が出来ただけ社会に出て

こられるように施策を打っていく。

Q 病児・病後時保育事業について、開設日数が目標の240日にに対し実績の102日間をどう評価しているか。保護者ニーズを的確に把握した事業展開となっているか。

A 目標値は、開設可能日数を示している。子供が病気になった際に利用する施設なので、この数字が多い方が一概に良いとも言えない。当日の急な発熱等の場合は受け入れが出来ておらず課題である。

利用には事前登録が必要で、今後とも制度の周知に努める。



当日発熱の受け入れが課題の病児病後児保育施設

Q 園芸産地育成強化事業で、福井和郷、ながの農園、ジョリーファームに加えて、いきいきタウン高浜がハウス園芸に参入する中で、競合が予想されるが、現状の経営状況は。

A 年間生産量など、目標値に対する出荷実績等については随時確認しており、出荷は概ね順調に推移している。出荷先や品種で棲み分けできており競合はない。



新たにミニトマトの出荷が始まったいきいきタウン高浜のハウス



Q 城山周辺再整備事業に関連して、水難救護所が現在も仮設の救護所で運用されているが、今後の救護所の整備計画は。

A 整備図面は出来ている。以前はショップとの併設案もあったが、現時点では救護所機能だけを整備する方針で、今後、補助事業に乗せる形で整備できるよう考えている。



仮設で運用中の水難救護所

Q 小学校姉妹校交流事業と中学生海外派遣事業について、小学校(韓国)で3万円、中学校(オーストラリア)で10万円の個人負担があるため家庭の経済事情で参加を諦めざるをえない子供もある。

A 配慮が必要では。他の市町と比べても安い負担金設定

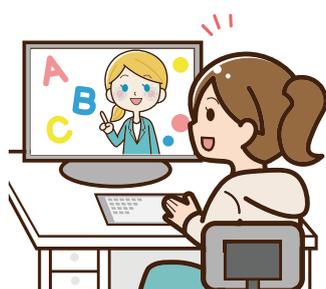
定である。海外に出て7泊、8泊といった行程を考えると応分の負担はお願いしていく。

Q 今年度は海外派遣がコロナの影響で中止された。

インターネットを活用した交流は可能ではないか。

A オーストラリアの海外派遣は、相手校が変わることから、オンラインでの交流はできないが、小学校では姉妹校とのオンライン交流は行っている。

【賛成多数で原案認定】



総務産業

常任委員会報告

委員長 大塚 ひとみ

6次産業施設の設置及び管理に関する
条例の制定について、質疑・意見多数

◇9月17日(木)

◆日本政府に「核兵器禁止条約」
への賛成と批准を求める意見
書の提出に関する請願

委員からは、趣旨は理解できるが、現実として日本政府は最終的に日本を守るために、世界情況、日本を取り巻く環境から見た場合、今の段階では出来ないかと判断している。時期尚早である。

【賛成者なしで不採択】

◆地方財政の充実・強化を
求める意見書採択

発委第3号として、「地方財政の充実・強化を求める意見書」10の項目を関係機関へ要請する案を提出し、本会議にて全員賛成で可決された。

【全員賛成で採択】

◆令和2年度高浜町公共下水道
特別会計補正予算(第2号)

Q 一般職の給料減とは。
A 技師1名が減になり、給料、職員手当、共済費等、合計390万円を減としている。

Q 何故、1名減ったのか。

A 当初予算では計上していたが、実際には配置がなく、非常に厳しい体制である。技術職に応募していただいているが、技師の採用が少ないのが現状で、職員同士協力しながら仕事を進めている。

●委員からは、包括的民間委託の形で効率化も出来ると思うが、手薄にならないよう要望があった。

審査した議案

○令和2年度宅地分譲
事業特別会計補正予算

◆令和元年度高浜町宅地分譲
事業特別会計歳入歳出決算認定

Q 坂田グリーンタウン、青山台、ゆりが丘など、区の管理組織でないことで苦情や要望が上がりにくい現状にあるが、行政区に上げられるように管理出来る組織をつくる支援はされているか。

A 坂田グリーンタウンは45、46世帯おられるので、区としてある程度コミュニティの単位は満たしている。今はコロナ禍で住民に集まって頂き説明する機会はないが、今後、少しずつ話す機会を持ちながら、自治体としてのコミュニティになるよう努力していきたい。

●また、コロナ禍で土地利用、地方へという流れもありチャンスの時期なので、借地として利用したり、安く使えるような思い切ったアイデアで、未利用地もしっかり使って、住みたい人を誘導するような政策を打ってほしいとの多くの意見があった。

理事者側からは、いろんな課題はあるが、ここをしっかりと使っていただけのように、売る、貸す又様々な工夫の中で分譲は続けていきたいと答弁があった。

審査した議案

○簡易水道事業・公共
下水道事業・集落排水
事業・水道事業それぞ
れの特別会計歳入歳出
決算認定4件

◆高浜町6次産業施設の設置
及び管理に関する条例の制定

Q 町が出資して施設とか設備を整えるわけで、指定管理者からバックというか、投資した分が返るとはどのようなことか。

A この条例については、先ず施設管理の条例をつくり、その後に施行規則と指定管理者が決まった段階で基本協定などを締結する。基本協定3か年の予定だが、毎年度ごとに年度協定、各規約、約束事を決め、その中で基本協定の中に指定管理料もしくは納付金の金額を設定する。

今募集の段階で指定管理料は0円、こちらからお支払いはしないという前提でスタートしたい。ただ協定を更新する段階で、事業者の収益状況を確認して、ある程度余裕がある場合、こちらでも維持費がかかり、初期の投資額もあるのでは納付金として切り替え、逆に頂くことも必要かと思う。その事業者の運営状況を見ながら、納付金の対

審査した議案

○高浜町特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例



●委員からは、この事業は、審議の中で付帯決議を掛けながらやってきた。漁協の水産物の付加価値をつける、そういった部分を主にしていくことが先ず基本にあるべきでそこをしっかり押さえていただくこと。行政と指定管理者でしっかり取り組んで頂きたいとの要望、意見があった。

◆道路改良工事(仮称)

横断5号線請負契約

Q ローソン交差点は通学路であり、拡幅されると安全面で危惧される。しっかりと表示が必要だが安全対策はどうか。

A 警察とも協議し路面表示の形になっている。その他に必要な表示方法は今後検討していきたい。

Q 道路工事の北側部分は、側溝などほとんど工事が終わっているようだが、ここだけ早く舗装をして、供用開始が出来る状況にならないか。

A 県道で区切れるのであれば、北側部分を先に舗装という可能性があるのので今後検討していきたい。



(仮称)横断5号線工事現場

視察報告



◇9月17日(木)午後1時30～4時

いきいきタウン那須野副社長より説明を受け、施設内を見学、現場の状況確認を行った。



自然光利用連棟ハウス(青戸)

現在、建設中の高浜町6次産業施設「UMIKARA」工事現場を視察した。担当者より、進捗状況について説明を受けた。

その後、「うみから」事務所(中町上田邸)で担当者より、指定管理(今後、

公募予定)に向けての運営計画、進捗状況の説明を受け、意見交換を行った。



高浜町6次産業工事現場



「うみから」と意見交換の様子

原子力対策

特別委員会報告

委員長 松岡 茂和

高浜発電所1・2号機
40年超運転(再稼働)を審議

◇9月24日(木)

福井県原子力防災訓練が8月27日
主に大飯町で開催された。訓練結果を
高浜町時岡防災安全課長から報告を受
けた。その後、原子力規制庁、経済産
業省、関西電力の担当責任者から高浜
発電所1・2号機40年超運転について
説明を受けた。

して審査の結果、運転延長申請は原子
炉規制法に規定する基準である実用炉
規則に適合していると説明された。

委員からは、活断層調査、事業者主体
の新検査体制、ヒューマンエラー対策
や津波の引き波対策、発電所の寿命、
安全性チェック策等多くの質問があつ
た。今後は365日、保安検査に入れ
るようになった。しっかり事業者の保
安活動が適切に行っているか確認して
いくと明言された。

原子力規制庁西村地域統括調整官
◆高浜発電所1・2号機40年超
運転にかかる審査結果

審査内容は現時点での原子炉具族施
設の技術基準に関する規則に適合する
認可を受け工事の計画が確定してい
る。劣化状況評価について、特別点検
の結果を踏まえた技術評価が行われ延
長しようとする期間において審査基準
の要求事項に適合することを確認され
ている。

耐震、耐津波安全性評価、長期保守
管理方針についても確認されていると

経済産業省遠藤原子力

立地政策室長

◆高浜発電所1・2号機40年超
運転の国のエネルギー政策

関電金品受領問題に関電から国とし
て業務改善命令による改善計画を受け
取り、計画によるコンプライアンスに
よる経営陣の体制刷新に対応している
ところで新たな関電子会社の金品受領
が発覚した。安全対策工事完了の報告
を受けた。しっかり調査し改善計画の

進捗状況を報告を受け、国として関電
をどう指導するか決めたいと答えられ
た。その後、エネルギー政策の動向に
ついて、説明された。委員から自然エ
ネルギーが進まない理由を問われ、太
陽光、風力発電は出力変動が生じ、安
定供給には蓄電等コストがかかること
が答された。地域共生の方向性につい
ては知事からも言われ主体的に取り組み
たい。また、稼働後の20年後も住民の
生活をサポートできるかとの問いには
廃炉後も見据え、具体的な行動に移し
たいと回答された。地元雇用の要望に
ついては、地元企業育成はメンテナンス
スで必要でコンプライアンスの透明性
確保のうえで、地元への配慮を関西電
力に指導したいとの回答があつた。

関西電力木島高浜発電所長

◆高浜発電所1・2号機の40年
超運転に向けた安全性向上対策

これまでの取り組み内容の説明を受
けた。その後デジタル化された中央制
御室等現場を視察した。

関西電力原子力事業本部

安藤地域共生本部長

◆業務改善計画の進捗状況

国の業務改善命令による、コンプ
ライアンスの徹底、企業体制の刷新等

説明された。新たに発覚した下請け企
業の金品受領問題について調査中であ
ること。地域共生について、地元企業
の育成のため、嶺南圏域の研修を図り
たいと応えられた。クリーンで新たな
地域との共存共栄の在り方で、積極的
な地域振興支援を要請した。

◇9月25日(金)

●請願第3号

◆新型コロナナ過での老朽原発運
転と再稼働準備工事の停止を求
める請願書

請願者 原発再稼働に反対する全国

自治体議員の会 代表 高木隆太氏

採決の結果 全部停止は地域経済を
破壊されるとの意見が多く賛成1、反
対12

【反対多数で不採択】

●請願第4号

◆高浜発電所1・2号機の
再稼働を求める請願

福井県原子力平和利用協議会

高浜支部 代表 田中康隆氏

趣旨に賛同する意見が多く出された
が採択すると表題で議会が再稼働を承
認したと誤解される。まだ国県町区長
等からも要請がない等慎重論が多く採
決の結果継続審議となった。

総合計画・総合戦略調査

特別委員会報告 委員長 西野 朋宏

「新総合計画」の策定に向けて

◇9月23日(水)

◆高浜町総合計画の策定状況について

①総合計画案の全体構成

▼序論

基本的事項、町の概況、社会情勢、前総合計画の成果と課題

▼基本構想

将来像、協働と行政経営
(まちづくりの基本要件)

▼基本計画

将来像実現のための施策の体系

②総合計画(序論、基本構想)案

●将来像(10年後のまちやひとの姿)

くるむ、つなぐ、かがやく
自然とともにある暮らし

若狭たかはま

人口フレーム

九千百人(令和12年度の人口)

③総合計画基本計画案

施策体系13分野38施策

リーディングプロジェクト

①地域でくるむ暮らし良さ実感プロジェクト

②多様な関わりでつなぐ新たな連携・交流促進プロジェクト

③魅力を高めてかがやく賑わい創出・産業再生プロジェクト

④パブリックコメント(意見公募)実施について意見募集期間

◇令和2年9月14日(月)～

9月28日(月)(15日間)

Q コロナや新しい生活様式への対応は。

A 計画内に疾病対策を盛り込み、コロナ対策や新しい生活様式を念頭に臨機応変に取り組んでいく。

Q 原子力との共生、エネルギー政策への対応は。

A 原子力関連産業の将来的な雇用や技術の維持、廃止措置を踏まえた取り組みについて盛り込んでいる。

議会改革調査

特別委員会報告 委員長 大塚 ひとみ

議会基本条例(案)概ね素案決まる

◇9月23日(水)

高浜町議会改革条例(案)について、概ね素案が決まり、条例をより分かり易くするために、逐条解説を付けることになった。

※逐条(ちくじょう)解説⇒条文を1条づつ掲げ、その後に、その条文の意義・要件・効果などについて解説を付したもの。

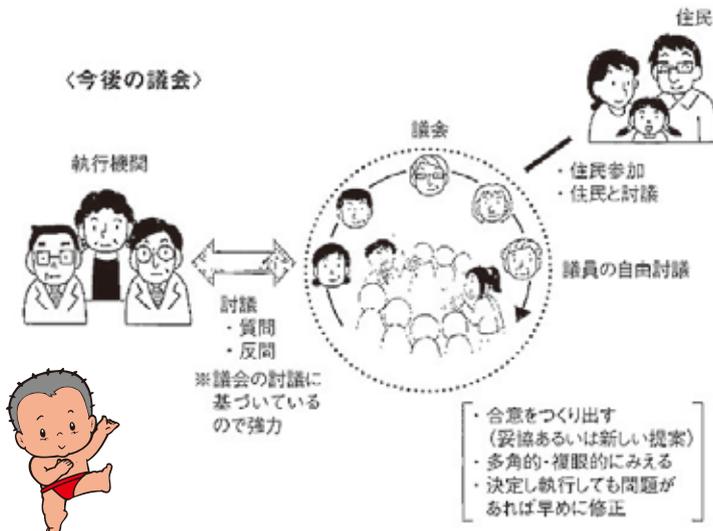
10月中旬、議会基本条例制定を実践されている、おおい町議会に内容確認、現状など、基本条例作成にあたり、理解を深めるために視察を予定。

今後の流れとして、基本条例の素案が整い、議員全員で協議検討の後、町民の皆様にはHPや回覧板を通してパブリックコメントの実施を考えている。

最近の高浜町議会では、委員会内、議員間で自由討議の場が増えてきており、議案や政策の議論が

深まっている。

引き続き、議会の活性化に繋がるよう様々な場での自由討議の場を設けたい。



若狭広域行政事務 組合議会

組合議員 磯部 武史

第2回若狭広域行政 事務組合議会臨時会報告

◇6月30日(火) 14時～

【議案に対する質疑】

●議案第3号

◆(仮称)若狭広域行政事務組合
広域ごみ処理施設建設及び運営
事業に関する建設工事請負契約
の締結

議案説明があり、落札者はJFEエ
ン지니어リング株式会社大阪支店、落
札金額は8億1500万円。

官庁にさまざまな申請を行う期間
や、実施設計図書作成などプラント基
本仕様の確認などを経て、令和3年5
月起工式、令和5年3月竣工という全
体工程案が示された。

本会議に移り、諸般の報告では、事
務組合の組織、体制について退職や移
動など変更点について説明があった。

会議録署名議員の指名が行われ、会
期を(6月30日1日限り)と決定した。



Q 20年間の運営費等について、施設
特有の修理、修繕に対する組合と企業
間での取り決めはあるのか。

A 大規模修繕を除く定期点検、小中
規模の維持修繕にかかる費用は契約金
額に含まれている。

不可抗力、天変地異、自然災害など
を想定した契約の変更、費用負担につ
いては事業者との協議による決定とし
ている。

協議が合意しない場合でも契約金額
を20年で除した100分の1340万
円以下の費用に関しては工事請負者の
負担となる。

法的な点検と計画的な修繕予定に
ついて20年間の工程表が配布され、11
年目12年目くらいに大きな金額が必要
となる。

運営金額の均等を考慮したDBO※
方式の契約で、これに併せて市町の負
担が上下することはない。



広域ゴミ処理施設概要

Q 排ガスの排出に関する測定地点が
和田と大飯の2か所ということである
が、地元住民の不安をなくすためさら
に増やす考えはないか。

測定結果の公表方法を
具体的に説明を。

A 地元説明会で、施設
が完成してからも排ガス
の状況についてリアルタ
イムでわかるようにとい
う意見を踏まえ、測定地
点は、おおい町の公民館
付近、和田地区公民館付
近、見学者や来所者用に
施設のすぐ近くの3か所
を候補地として計画して
いる。

測定結果は、その3か
所のモニターで表示し、
組合のHPにも掲載する
予定である。

【全員賛成で可決】



広域ごみ処理施設 完成イメージ



※DBO(デザイン・ビルド・オペレート)方式：設計・建設・運営を民間事業者に一括発注する公設民営の方式。

令和元年度 決算監査結果報告

代表監査委員／松本有策

令和元年度における高浜町の一般会計、特別会計並びに公営企業会計の歳入歳出決算について、それぞれの決算書類及び出納事務などの関係諸帳簿、その計数、正確性を確認するとともに、適正かつ効率的に執行されたかなど細部にわたり調査、照会した。

また、財政運営の状況等については、例月出納検査

監査委員／井上順也

及び定例監査等を通じて、関係職員にも説明を求め審査した。

審査の結果、その計数はいずれも関係諸帳簿と符合して正確であり、その内容も適正に処理されていたことを確認した。

■一般会計の決算概要

▶歳入総額

115億2,877万137円(対前年度比3.0%減)

▶歳出総額

105億7,878万3,350円(対前年度比4.2%減)

主な事業として、町道柿ヶ渡線や横断5号線、原子力災害制圧道路等の新設、中山観音寺線や新庁舎周辺道路などの改良に合計13億7,590万4千円支出した。

■特別会計の決算概要

▶歳入総額

37億9,576万4,755円(前年度比2.1%増)

▶歳出総額

37億893万2,040円(前年度比3.9%増)

国民健康保険特別会計では、被保険者数の減少により国保税収入が減少したことで、歳入は前年度比8.9%減少、歳出も10.1%減少し、単年度収支は1,278万3,239円の黒字であった。

■まとめ

原子力発電の将来がどうなるのか不透明で、町の将来へのかじ取りも極めて難しい状況にありますが、身の丈に合った財政規模へ縮減し、持続可能な行財政運営の実施とともに、住みやすく、幸福度の高い町をつくるための諸施策が、町民を巻き込みながら、新総合計画としてまとめられることを期待する。

昨年9月以降、高浜町元助役と関西電力との金品受領問題に伴う町行政への疑惑、時を同じく町長の町関連企業からの借入金問題が明らかになり、第三者委員会等による監査が行われた。

結果的に町長以下全職員、不適切な業務処理は無かったと結論付けられたが、一旦低下した信頼を特別職、一般職問わず、全員が社会の厳しい眼を意識し、服務規律や倫理規程を遵守し、公明正大な業務を継続することしか術はないと考える。

今まで以上に誠実に、そして注意深く職務に当たられるようお願いしたい。



連棟型トマトハウス



認定こども園

高浜町議会の
挑戦!!

QRコード化で全文公開!

高浜町議会では、もっと詳しい情報が知りたい! デジタル化をもっと進めるべき! というご意見を受けQRコードで本文以外の情報も見られるようにしました。どうぞご覧ください!



7月27日 開催
町議会×まちづくりネットワーク
出前議員懇談会 概要とアンケート結果



高浜町人権のまちづくり条例 全文



9月12日 開催
町議会×高浜地区区長会
出前議員懇談会 概要とアンケート結果



地方財政の充実・強化を求める意見書
全文

9月18日 開催
町議会×青郷地区区長
出前議員懇談会 概要とアンケート結果



新型コロナウイルス感染症の影響に伴う
地方財政の急激な悪化に対し
地方税財源の確保を求める意見書 全文



8月28日 開催
町議会×和田地区区長
出前議員懇談会 概要とアンケート結果



議会だよりバックナンバー

令和元年度 決算監査報告 全文



議員の出前懇談会



呼んでください
お伺いします!

高浜町議会では、議会発信の議員と語ろう会とは別に町民の皆様から呼んでいただいて開催される「議員の出前懇談会」があります。

申し込み用紙に記入して頂けたら、町内どこでもお伺いします!

「●●が知りたい!」等でも構いません。

議員の出前懇談会 申し込み用紙QR

<https://www.town.takahama.fukui.jp/page/gikai/gikaidemaekonndankai.html>



編集後記

世界中で猛威を振るったコロナウイルスは、私たちの生活様式を変化させました。今、高浜町においては、今後の10年を見据えた「高浜町新総合計画」の策定が進んでいます。

現状の高浜町に目を向けると、人口の減少と少子高齢化、景気の低迷など、喫緊に取り組まなければならない問題が山積されており、それに加え、地球温暖化に伴う激甚化する災害に対し、建物の補強や堤防の整備等、いわゆるハード面のみでの対応にも限界が来て、国土交通省においては「最悪の事態を想定して、個人、企業、地方公共団体、国等が主体的にかつ連携して対応することが重要」であるとの考え方を示し、いかなる災禍対しても、先ず「自分の命は自分で守る」ことが基本であり、子供たち・孫たちに、しっかりと教育することが親・祖父母の役割であると指導しています。

皆さん!今こそ、ひとり一人の意識改革と行動が求められる時です。皆さんの熱意と行動で、素敵な高浜町に変えていきましょう!

町議会は、常に原点に立ち返り、足元を見据え、議会が一丸となって各種行政課題に取り組んでいく所存でございます。

今後もより一層のご支援ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

文責 西野 朋宏

広報特別委員会

- | | | |
|------|-------|-------|
| 委員長 | 松井 昭人 | 西野 朋宏 |
| 副委員長 | 河島 浩彦 | 児玉 千明 |
| 委員 | 磯部 武史 | 松岡 茂和 |